

お元気ですか



新屋敷事務所: JR円行寺口駅前 823-5878
あその事務所: 846-2046 県議会 823-9524
北本町事務所: 北本町1丁目13-3上雅ビル1F



日本共産党

県政ニュース はた 愛

2024年9月29日 No.895

国が訪問介護報酬引き下げ 『介護危機』深刻

訪問介護が町から無くなる、どう生活を守るのか



介護事業所倒産、過去最多

今年の4月、国は訪問介護の介護報酬を引き下げました。この影響で人手不足も深刻化、事業所の倒産も増え、東京リサーチの調査では、今年1月〜8月期の倒産が114件と、前年同期で見れば1.44倍へ増え、過去最多を更新しました。

このデータによる倒産件数は1千万円以上の累積赤字の企業です。実態は、赤字が増える前に廃業する所が多く、この数は氷山の一角です。

保険料払ってもサービスなしか

県内の訪問介護の実態は大川村で訪問介護事業が休止となり、四万十町では、社会福祉協議会が担っていましたが、できなくなっています。高齢者や家族の皆さんの不安は計り知れません。介護保険料を払い続けて来たのに、いざ使おうと思うと事業所が地元になく隣の町から来てもらえない状況です。

高知県は中山間地で訪問に20分以上かかる場合は県独自の支援をしていますが、それでも全体を見れば国が繰り返す、報酬引き下げによって経営難、人の確保ができず、休止や廃止が増えてきています。

働きがいある介護にするために

訪問・介護事業所やヘルパーさん達から苦しみのが寄せられています。先日、地元新聞も連載しましたが、高知の介護危機は深刻で、大事なヘルパーさんに対するパワハラ、セクハラなど人権侵害も起きています。背景には、介護の仕事を低く見る風潮があるからです。介護職が足りず事業所が成り立たない状況であり、働く環境や賃金の改善は待たないです。

介護を重要な産業、雇用の場と位置づけて町を創ることが、家や田畑を守る事になり、若者が帰れる町になるのではないのでしょうか。

おたまじゃくし

ポロシャツの女性が「もう限界」「現場を知って」と訴える。訪問ヘルパーを長年務めてきた、女性は自殺未遂をした。ハラスメントの日々、人手不足の苦しみ、いい介護は出来ないと語る。ヘルパーさんが介護の未来を憂い、自殺を考えなければならない日本。

ありえない！介護報酬は引き下がり、一方で料金は上がり続ける。ついに町から介護事業所が無くなっていく時代に。この国はどこまで生活の土台、介護を壊し、お年寄りや中山間地域を追い込むのか。

この流れを変えるのが、今度の総選挙。自民党は、党のトップを変える動き。しかし、裏金事件が問題になっているのに、どの候補も企業・団体献金を禁止するとは言わず、「所得倍増」や「選択的夫婦別姓」などを新しい政策の様に言う。国民は見抜いている。

なぜ、与党は進まないのか、反省のない政権は交代しかない。国民の期待は、野党の本気の団結だが・・・

介護現場の涙も、笑顔に変わる日を目指して。

赤旗まつり 2000人 大盛況



山下党副委員長、にひ参議院議員、四国比例予定候補の白川、浜川さんが挨拶。私たちの手で、政治を変えよう、と呼びかけました。

私達の事務所は、牛串、たい焼きを出し大盛況！若者チームのおかげで、たい焼きは570個以上売れたようです。



無料 生活・法律相談会

★10月20日 午前10時～12時

新屋敷事務所 血田幸憲・弁護士

★10月16日 午後18時～20時

あその事務所 南拓人・弁護士

*あその予約先: 090-1171-4156